



# 令和5年度会務報告

## 1 支部総会の開催

令和5年8月27日、「温泉ホテル中原別荘」において、校友会本部から豊原秀和副会長。大学からは桑山岳人副学長をお招きし、会員31名が出席のもと総会を開催しました。

総会に先立ちまして、澤山岩重氏（昭和44年農）が「テントウムシが育てたオクラ栽培について～総合的病害虫・雑草管理（IPM）技術の導入～」と題して講演を行いました。澤山氏はオクラ生産量全国一位の指宿市において、JAいぶすきオクラ部会エコファーマーグループ代表として農薬だけに頼らず、様々な方法を組み合わせて病害虫や雑草発生を抑える技術（IPM）に取り組み、2022年度の「九州地域未来につながる持続可能な農業推進コンクールの有機農業・環境保全型農業部門」で九州農林局長賞を受賞されました。講演ではオクラの持つ効用や土壌天敵を活用したオクラ栽培方法についてお話いただきました。

総会の宮原支部長挨拶では、「47都道府県で在校生がいない県があり、今後の校友会活動に影響が出てくることも懸念される。そのような中、本支部でも新会員に総会の案内を出しても返信がない状況があるので新会員への声掛けをしてほしい。」

その後、豊原副会長からは「日本農業の課題である食料自給率を上げるのは実学主義を唱える農大の役割であり、そのため大学と卒業生が連携することが重要である。」とのお話がありました。

また、桑山副学長からは「学長を支える5人の副学長の担当業務と農大ブランド力発信の重要性や来年度からのカリキュラムに農大の魅力や愛校心を醸成する農大入門がスタートすること等のお話がありました。

議事では議長に桐原章氏（昭和58年拓）選出後審議に入り、令和4年度会務報告・収支決算報告・監査報告並びに令和5年度事業計画・収支予算全ての議案が原案通り承認されました。

総会終了後は懇親会が豊原副会長の乾杯発声により開宴し、4年ぶりとなる親交を深めました。和やかな雰囲気です。宴は進み、最後は学科斉唱、北森副支部長（昭和39年経）の一本締めで散会となりました。

## 2 教職員部会の開催

総会に開催に先立ち、桑山副学長にもご出席いただき部会を開催しました。協議事項として「農業高校の活性化等について」意見交換しました。

入学希望者の減少に伴って定数も減となり、その結果高校も縮小され教員採用がなくなっている。その他農大と農業高校が連携協定を結んで関係を強化することも必要ではないか。推薦入学については以前の支部推薦に代わる新たな制度を検討してもらいたいなど、農業高校と農大との関係について意見が交わされました。

### 3 令和5年度校友会通常総会

通常総会は、令和5年5月26日世田谷キャンパスで4年ぶりに制限なく対面で行われました。当支部からは代議員の宮原支部長、廣森副支部長が出席しました。（会議内容は東京農業大学校友会ニュース第134号に掲載されています。）

### 4 役員会の開催

令和6年3月24日、鹿児島市の「県民交流センター」において、役員会（11名出席）を開催しました。

先ず、宮原支部長より野球部合宿の経過と協力のお礼、グループLINEへの参加等の挨拶後、昨年開催された九州ブロック会議の報告を前村幹事長から、また3月8日開催の全国支部長会議の報告を支部長から受けました。

その後、令和6年度支部総会の開催日時等について協議を行い、例年通り、鹿児島市において8月18日（日）午後4時から開催することで決定しました。また、講演会の講師や来賓出席をお願いする大学教職員については、三役に一任されました。

その他、来年度の役員改選についての意見交換を行い、新役員の選出を三役で協議、その案を総会に諮ることで役員の上承を得ました。

また、現役学生と交流する県人会を通常総会の開催日（5月31日）に合わせて実施することで一致しました。

### 5 令和5年度九州ブロック会議

令和5年11月11日、大分センチュリーホテル（大分市）で校友会本部から小野副会長、8県支部17名が出席し、会議は開催されました。（当支部からは諸木副支部長・前村幹事長出席）

会議では、各支部の取り組みや課題等について意見交換しました。

内容としては支部総会への参加者の減、後輩を育てないと支部活動が維持できないのではないかと。各県の農業高校の現状など。また、校友会本部からは現役学生の参加による「県人会」の開催、女子学生が増加傾向なので女性部会も組織すべきではないかと。

### 6 令和5年度校友会全国支部長会議

支部長会議は、令和6年3月8日世田谷キャンパスで開催され、宮原支部長が出席しました。（会議内容は、東京農業大学校友会ニュース第135号に掲載されています。）

### 7 世田谷野球部鹿児島キャンプの激励会開催

本県で初めてのキャンプ（3月4～10日）が南さつま市で行われ、6日には練習中の加世田運動公園の野球場を訪問（支部長外4名）し、激励会を開催しました。

支部及び会員有志からの黒豚20キロの贈呈、また市内在住の3人からはスポーツドリンクの差し入れもありました。

その後、春季東都大学二部リーグでは優勝、入れ替え戦に勝利し31年ぶりの一部昇格を達成されました。9月からの秋季リーグに期待が膨らむところです。（激励会は南日本新聞“11ページ参照”、校友会ニュース第135号でも紹介されました。）

## 令和5年度決算の報告

### 収入の部

科 目	5年度予算額	5年度決算額	増 減	備 考
繰越金	178,510	178,510	0	前年度繰越金
会 費	180,000	152,000	△28,000	年間2,000円、76人
交付金	110,000	140,000	30,000	本部校友会からの交付金
総会負担金	198,000	186,000	△12,000	31人
寄付金	20,000	20,000	0	校友会・大学からの寄付
雑収入	1	0	△1	
合 計	686,511	676,510	△10,001	

### 支出の部

科 目	5年度予算額	5年度決算額	増 減	備 考
総会費	240,000	210,095	△29,905	8/27開催の総会・懇親会費
役員会費	156,000	27,062	△128,938	会場使用料、交通費補助
通信費	80,000	72,356	△7,644	案内郵送料、会費払込料金
活動費	144,000	114,944	△29,056	九プロ・全国会議出席補助
印刷費	11,000	5,920	△5,080	インカートリッジ代
事務費	15,000	0	△15,000	
雑 費	40,511	57,060	16,549	野球部・女子ホッケー部へ激励品
合 計	686,511	487,437	△199,074	

(収入) 676,510 - (支出) 487,437 = 189,073 (収支残高)

今年度収支残高189,073円は、令和6年度へ繰越しとします。

# 会計監査報告

令和6年8月18日

東京農業大学校友会鹿児島県支部

支部長 宮原 俊郎 殿

東京農業大学校友会鹿児島県支部

会計幹事 船橋 修一 

会計幹事 森重 真 

令和5年度会計決算の報告にあたり、会計監査を下記のとおり行いましたので報告します。

## 記

- 1 監査の実施日と場所 令和6年8月18日 ホテル・レクストン鹿児島
- 2 監査立会人 事務局長 前村 格治
- 3 監査資料  
(1) 収支決算書 (2) 会計元帳 (3) 領収書 (4) 預金通帳

## 4 監査結果

令和5年度収支決算は、関係帳簿、領収書とも良く整理され、残高と預金通帳の照合の結果、決算書のとおり違算のないことを認めましたので報告します。

## 令和6年度事業計画

- 1 九州ブロック会議（宮崎市で開催予定）・全国支部長会議・通常総会への参加による交流と情報交換を進める。
- 2 役員会の充実  
役員会を充実し、校友会活動の中心として、その役割が果たせるよう努める。
- 3 支部総会への参加を広げる  
年1回の総会への参加を広げ、会員の親睦、大学の発展に寄与する。また、現役世代や新会員への参加を促がすため、支部活動の紹介など情報提供に努める。
- 4 卒業生の就職対策の推進  
地元へ帰って就職を希望する卒業生の支援のため、支部長委嘱による「就職相談員」を引き続き設置する。
- 5 入学生対策の推進  
鹿児島から東京農業大学への入学を希望する高校生等に対して、教職員部会を中心に入試制度の活用を進める。
- 6 現役学生との交流  
通常総会、全国支部長会議の開催に合わせて、現役学生、県出身の教職員との県人会を開催する。
- 7 大学のクラブ・サークル団体への支援  
本県で合宿等を行っているクラブ等を訪問して、激励会を開催し、激励品を贈呈する。
- 8 仮称「農大マルシェかごしま」の開催に向けて、時期や出店可能イベント等について役員会で協議を進める。また、開催に当たっては費用の一部を補助する。
- 9 「箱根駅伝への道 one コイン募金」へ協力する。
- 10 その他必要な活動は、役員会で協議して取り組む。

## 令和6年度収支予算

### 収入の部

科 目	6年度予算額	5年度予算額	増 減	備 考
繰越金	189,073	178,510	10,563	前年度繰越金
会 費	180,000	180,000	0	90人×2,000円
交付金	160,000	110,000	50,000	本部校友会からの交付金
総会負担金	290,500	198,000	92,500	45人
寄付金	20,000	20,000	0	校友会・大学からの寄付
雑収入	1	1	0	預金利子
合 計	839,574	686,511	153,063	

### 支出の部

科 目	6年度予算額	5年度予算額	増 減	備 考
総会費	366,000	240,000	126,000	総会開催経費・懇親会費
役員会費	168,000	156,000	12,000	会場使用料・交通費補助
通信費	76,000	80,000	△4,000	案内郵送料・会費払込料金
活動費	152,000	144,000	8,000	九プロ・全国会議出席補助
印刷費	12,000	11,000	1,000	インカートリッジ代
事務費	15,000	15,000	0	事務局費
雑費	50,574	40,511	10,063	激励品、消耗品
合 計	839,574	686,511	153,063	

役員会の交通費補助は、市内1,000円、市外2,000円、離島5,000円。

活動費の全国会議出席補助（総会・支部長会議）は1回20,000円、九州ブロック会議は実費。